

浅野作次郎氏一人寄進建立

大正8年9月 大門竣工

大正9年9月 遷佛法要殿修

宗祖親鸞聖人650回御遠忌法要
法主、御遠忌法要御親修



『別院しらべ隊』
次号も大門です。



平成22年1月6日制作 調査員：草部・垣原・横井よ・高橋

別院しらべ隊 調査報告書1 大門の謎！

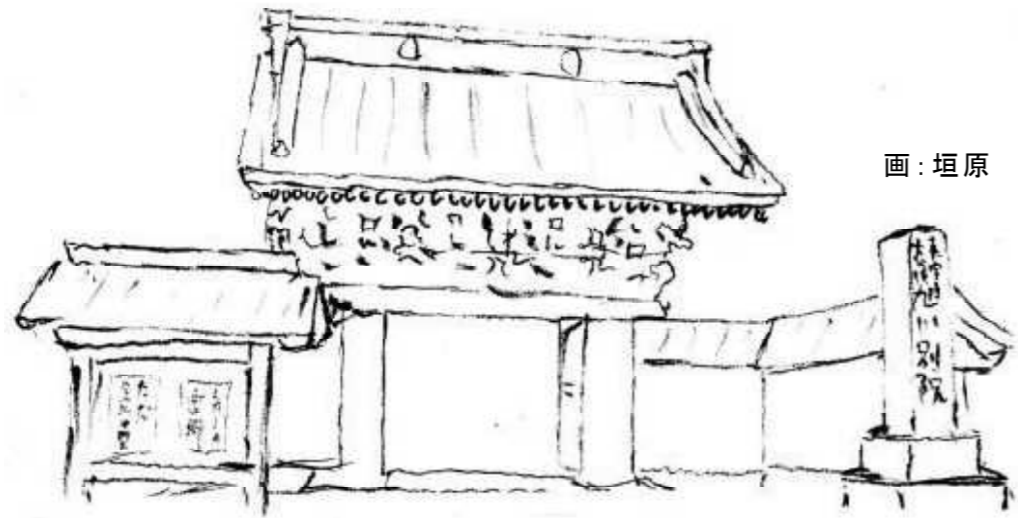
真宗大谷派旭川別院宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念事業

～本堂等の改修に当たって～

この度、旭川別院宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念事業として、本堂等の改修を計画しております。旭川別院は、1920年（大正9年）に本堂・大門が完成してから今日まで約90年間、道北寺院の中心であり、ご門徒の念仏道場として私たちを支え続けてくれました。1948年（昭和23年）には鐘楼堂が再建され、ようやく寺院本来の姿が完成しました。

しかし、長い間支えてくれた本堂が、今、悲鳴をあげているというのです。雨漏りによって漆・金箔が剥がれてきており、床は所々抜けています。本堂・大門・鐘楼堂の屋根は、鳥によって荒らされています。このままでは、今まで旭川別院を支えてきてくれた先輩の想いまでも壊してしまうのではないのでしょうか。修復していかなければならない場所として、本堂・大門・鐘楼堂・水場があります。

これから皆様に、随時建物の状況等を報告していきたいと考えています。



画：垣原

大門とは？

旭川別院の本堂正面には大門が建てられています。私達が普段何気なく通らせてもらっているこの大門には、どのような意味(願い・はたらき)があるのでしょうか。

私達は、貧(むさぼり)・瞋(いかり)・痴(おろかさ)の中で生きているといわれます。これは、自分中心に物事を考え、自分の思い通りにいかなければ他人のせいにしていく、そういう私なのです。他人を傷つけ、忌み嫌い、利用していくという事です。

こういった迷いの世界から私達の御先祖様が、この大門を通して仏様の教えに出遇って救われてほしいという、そういう願いが形となって私達に呼びかけられている様に思います。

旭川別院の大門は、決して閉まることなく、いつでも迷い・苦しみから救って下さる道しるべとしてあるのでしょうか。

?? 謎 ??



ちょうさん

2つの資料があるが、大正11年に土地を買う計画があると書いてある〈資料1〉に対し、大門建立大正8年9月〈資料2〉となっている。
年代にズレがあるのはおかしいぞ!!

◎輪番浅野識氏時代
輪番所竣工 大正四年六月
納骨堂竣工 大正五年
本堂再建築許可 大正七年七月十一日
大門建立 大正八年九月
本堂建立遷佛會 大正九年九月二日、三日

〈資料2〉

大正十一年(輪番拓殖氏時代)大門を建設すべく現サイダー會社と大門との間、間口十二間奥行二十七間を、當時所有者淺野一氏より買受く。
現在の大門敷地は、當時道路にて官有未開地なるを以て、拂下げを出願したるも許可されず、寺院敷地として買拂を受くることとなり、即ち間口十一間、奥行二十七間、九畝二十七歩(二百九十七坪)は九月二十三日附登千八百參拾參圓九拾七錢にて買拂ひ許可、権利移轉登記をなす。
次で大門敷地より西三十間、二十七間即ち八百十坪は、糸屋銀行山本菊藏氏所有地なるを、それに隣接せる別院境外地と交換をなす。かくて大門を建立し、敷地は總坪九千一百三十坪となりて、本堂前廣場は、別院所有地として芝生繁り、縁樹亭々として變へ、一大樂園を形成するに至つた。

〈資料1〉

旭川別院沿革誌

大谷派本願寺旭川別院

どうか、大門についてご存じの事があれば、どんな小さな事でもご連絡下さい。

又、明らかになったことは次号の「別院しらべ隊」に掲載させていただきたいと思っております。

調査員…草部・垣原・横井よ・高橋

TEL 0166-22-2409